

## 上部消化管内視鏡検査説明書

検査日 令和 年 月 日

上部消化管(食道・胃・十二指腸)について詳しく調べるために内視鏡による検査を行います。

病変が見つかった場合は、病理検査のため生検(組織の一部を採取すること)を行うことがあります。この場合、当日は運動および刺激物(アルコール、香辛料など)の摂取を避けていただく必要があります。

なお、血液が固まるのを防ぐ薬を服用中の方や血液が止まりにくい病気の方は、原則として生検は行いません。

のどを麻酔して検査を行いますので、検査後1時間位は食事ができません。前処置および検査の影響が残ることがありますので、当日は車の運転をしないでください。

検査が原因で腹痛、咽頭痛(のどの痛み)などの症状を生じる可能性がありますが、数日以内に消失します。まれに出血・穿孔などの重篤な合併症の発生が報告されていますが、頻度は全国集計で検査を受けた方の0.007%です。万一このような合併症を生じたときには入院していただき、迅速に適切な治療を行います。検査後、吐血・黒色便・持続する腹痛などの症状がありましたらご連絡ください。

医療法人徳洲会 南部徳洲会病院

令和 年 月 日

【④紹介患者様用】

患者氏名: \_\_\_\_\_

## 内服薬チェックシート

- すべて止めない
- 止める薬は以下のもの